

光市医師会報

昭和55年 6月発行

No. 94



忽ちに一枚の田を
植えにけり(虚子)

大野宗二先生

光市医師会

医師会月間行事

◎定例理事会

6月10日 (火) 午後7・30

光市医師会館

議題

○連絡報告事項

1. 保険研修会(下松市医師と合同)について 質問事項 出席人員等
2. 丸茂重貞氏、参院選挙の支援活動について
 - イ. 投票見込数の報告 6月10日、6月17日
 - ロ. 6月15日、丸茂後援広報車通過についての打合せ
3. 昭和55年度産業医学に関する調査、研究助成に係る調査研究の募集について
4. 全国自治体病院開設者協議会、全国自治体病院協議会よりの依頼について
5. 各種協議会予定
 - イ. 学術担当理事協議会(6月19日)
 - ロ. 労務担当理事協議会(6月26日)
 - ハ. 麻薬担当理事協議会(7月3日)
 - ニ. 国保組合会(9月17日)
6. 光市医師会備付自動車購入
7. 松本議長の受勲祝賀会について
8. 前田先生の長寿会員表彰 於県医学会
9. 7月7日 社会保険のレセプトは、午前10時より15時まで
基金より6名
医療機関は基金より指定する

○協議事項

1. 光市医師会報のあり方について
2. 図書購入について
3. 丸茂重貞参議員候補個人演説会参加について
 - イ. 割当出席人員 10名
 - ロ. 当日のスケジュール
4. 6月例会議題について
救急医療、医療事故についての研修会
予定
5. 月例会のあり方について

◎下松市医師会との合同保険研修会

6月20日 (金) 午後7・00

下松市民館

県医師会より保険担当理事である田村武男先生並びに藤野 巖先生が講師として、又両医師会より大半の先生方の参加のもとに、質問事項の検討や討議が熱心に行なわれた。

今後の医療事情の変化に伴い、社会保険の診療、診療報酬請求、審査、指導と相関連して対応していくでしようが、経済急成長とは逆の事態になるのですから、一定の枠の中での配分となれば、自ら、非常識なもの、格の外にはみ出るものに対する制裁は厳しくなりますでしよう。医師会の中に於いても、当然厳しい指導と対処を迫られるでしようから、将来のかような事情をふまえた、県医師会の意向が説明された。

その後、両理事、並びに両医師会長を混じえて、懇親会を開き、賑やかに意見の交換と親睦を深めた。

◎定例会

6月24日 (火) 午後7・30

光市医師会館

○研修会

救急医療について 講師 富恵哲先生

1. 救急箱（エマージェンシーケース）の使用法
2. 救急蘇生法の復習
3. プライマリーケア学会の報告

○例会

報告事項

1. 参院選挙について
2. 社会保険のレセプト受け付けについて
3. 医事紛争の一例について
4. 中四国連合総会の「1980年代の医療経済」特別講演の概要について
5. 日本産婦人科学会山口地方会について

◎昭和55年度 日本産婦人科学会山口県地方会 日本母性保護医協会山口県支部総会 6月22日

下松市立図書館に於いて光・下松産婦人科医会の主催で、百数十名の参加のもとに盛大に行なわれた。午前中一般講演十八題のあと下記の如き興味ある特別講演三題が続いた。

1. 腫瘍抗原による子宮頸癌の診断と管理

山口大学 加藤 紘先生

2. 新生児をめぐる最近の話題

北里大学 島田信宏先生

3. 産婦人科に於ける医事紛争について

慶応大学 山口光哉先生

特別講演の内容も顔ぶれも、特に充実しており新鮮な問題を取りあげての講演は、非常に勉強になったと思います。

学会修了後、ホテル幾久屋に於いて懇親会を開催した。アトラクションには、富恵先生司会で、亀田先生を座長とするマジックショーが大喝采を拍し、実に楽しい賑かなパーティーでした。

My Hobby



ある風景 大野 宗二

毎朝放送されておるNHKドラマの「なっちゃんの写真館」の「なっちゃん」は家業の写真館を引き継ぐ決心をして、上京、写真専門学校に親の反対を押しきって入学した。写真屋でなくて写真家になろうと決心したのである。写真屋と写真家の違いは、単的に云って、大した意図もなく、ただ記録的に、或いは記念的に漫然と撮影するのが写真屋で、美の本質を探究し、写真を通して人生の本質を追求し、社会のありように、何かを語りかけるような写真を撮影するのが、本当の写真家と云ふのであろうか。私の書棚に「日本の美」の写真全集があるが、さすがプロの写真家の写真には、全く感心せざるを得ない。

医師会報の表紙をかざる写真を依頼され

たので6月始めの日曜日、何か良い材料はないものかと、山間に近い田舎路を歩いてみた。写真撮影に逆光線は駄目ぐらいの知識しかもたない、全く無器用な私にとって、構図がどうの、アングルがどうの等の細かい配慮は、私の実力では全く無理な事は百も承知で自信のないこと甚だしいのだが、折角会報の表紙を飾るのだから、何とかいい写真をとれないものかと、僅かながらの写真家的希望をもった事は認めてほしい。然かし所詮は凡才、御覧の様な平凡な出来のわるいものになってしまった。あいにくの曇天で果して、うつっているかどうか心配したのだが、最近のフィルムは感度が良くなったおかげで、何とか格好がついた感じである。頂度、農繁期で田植の風景が目にとまったので、手当たり次第に5.6枚もとったであろうか、その中で一番できのよさそうなものを選んだ次第。私の子供の頃は、牛が田をすき、早乙女が一線に並んで苗を植える牧歌的な風情があったが、機械化の進んだ現代は広いたんぼも一人でこなせる能率的なものとなったが、なんとなく味気ない気もする。写真中の人物M君は長距離トラックの運転手さんである。"Mさん長距離運転と運耕機の運転はどっちが楽かね、" "どっちも楽じゃねえです。自動車だけじゃ食うて行けんでう、" の言葉がかえってきた。

〔訂正〕

前号My Hobbyの私の記事の中で、原田景州先生の本名を間違えています。本名は忠明、号の方が景州です。大変失礼なこと

をして申し訳ありません。誌上を借りてお詫び申し上げます。

あ と が き

毎日毎日よくも続くものだと思う梅雨のまっ最中です。年中部屋の中で仕事しているものにとって、屋外に出たり診療場所から離れたい気持が強いのに、雨ばかりではどうにもなりません。

今月は表紙を大野会長に突然お願いして田植の写真と俳句をいただき有難うございました。

産婦人科の学会に光医師会の多大の御後援と、マジックショーで会を盛りあげていただいた亀田、富恵、守田（歯科）先生方の御協力を心から感謝しお礼申し上げます。



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社